

防災特集

防災の備えを新たに

昭和三十九年六月十六日午後一時二分に発生した「新潟地震」は、多くの市民を不安と恐怖に陥れました。先月二十日には秋田沖を震源地とするマグニチュード7.7の強い地震（日本海中部地震）が発生し、日本海沿岸を津波が襲い、百人を超える死者、行方不明者が出る大惨事となりました。新潟地震から十九年の歳月を経た今、人々の地震災害の恐ろしさも年々薄らいできています。この日を機会にもう一度、防災の備えを新たにしましょう。

災害は忘れたころに

新潟地震から19年



日本海中部地震による津波の被害（能代市）

津波災害を防ごう

「日本海中部地震」では大惨事

津波は、海の水が陸地に押し寄せられる高さに合わせて、寄せられる現象です。津波は海城で発生し、地震によって起る「津波警報」は、津波注意報と区別されています。高さは、数十メートルに達することもあります。

津波予報

津波の高さは、地震の規模や起り方によって違います。

地震発生から

津波発生から、約十分後に津波の第一波が押し寄せ、大惨事となります。

津波来襲まで

秋田県沖に押し寄せ、大惨事となります。

地域ぐるみで助け合い



地域で災害に備えよう

日ごろの心がけが被害を最小限に

あわてず外へ飛び出さない。外へ飛び出すほど危険なことはありません。瓦や窓ガラスはあらかじめ外へ飛ばさない。破片、看板などが落ちてきると、非常に危険です。津波が押し寄せると、深さ四メートルの海では毎秒二百メートルで流れます。

津波に對する心得



- ①大地震があったら津波に用心、海岸から離れること。
②地震の揺れが大きい時は、速く、深く、四方向の海では毎秒二百メートルで流れます。
③津波注意報も海水浴や釣りには危険。
④地震を感じなくても、津波警報が発せられたら危険区域の人は早く避難する。
⑤津波は繰り返して来る。津波警報解除まで気をゆるめない。
⑥津波の情報は、気象庁発表による正しいものをラジオ、テレビ、広報車などでつかむ。

阿賀野川で水防訓練

増水時の危険に備える

水害から私たちの生命と財産を守るため、さる五月二十九日、阿賀野川の松浜

橋下流の堤防で、東西消防団や市職員が約百三十人が参加し、大がかりな水防訓練が行われました。訓練に参加した消防団は、木戸、石山、鳥屋野、坂井、輪、内野、小野の各地区分それぞれ十人ずつの計六十人。



ろう水を防ぐ、月の輪工、の訓練風景

防ぐ、月の輪工や、むしろシートを堤防のりに張る。防ぐシート張り、のりに張る。防ぐシート張り、のりに張る。防ぐシート張り、のりに張る。

避難場所をもう一度確認

災害時に備えて、市では中、高校に「避難場所指定」を指定しています。また、地域の方々が、避難場所へ安全、速やかに避難できるように、「避難場所指定」を指定しています。

防災の問い合わせ
市交通防災課(電話28-1000)
23(三一九)ハ

幼児の食事講習会
対象 1~3歳児をお持ちのお母さん
日時 6月17日午前10時~正午

離乳食講習会
対象 生後4カ月に達した赤ちゃんをお持ちのお母さん
日時 6月14日午後3時30分~4時

保健婦による健康相談
Table with columns: 月日, 地区, 会場, 時間

保健所・保健センター電話案内
Table with columns: 地区, 電話番号

血圧の高い人の生活と食事講習会
日時 6月20日午後1時半~3時半
会場 菅野不速館

むし歯予防教室
日時 6月20日午後1時~1時20分受け付け
会場 坂井輪地区保健センター

「老人保健法」健康手帳をお持ちの方はご持参下さい。
対象の老人出張相談。

育児相談
Table with columns: 月日, 時間, 会場